

償還日 (2021年6月28日)

償還価額 10,461円09銭

純資産総額 378百万円

第92期～第94期
(2021年1月13日～2021年6月28日)

騰落率 9.2%

分配金合計 50円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

ニッセイ／パトナム・ バランスアップオープン

【愛称】トリプルスター

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書 繰上償還

作成対象期間：2021年1月13日～2021年6月28日

第92期 (決算日 2021年3月10日)

第93期 (決算日 2021年5月10日)

第94期 (償還日 2021年6月28日)

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／パトナム・バランスアップオープン」は、約款の規定に基づき、2021年6月28日に繰上償還させていただきました。ここに運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につきまして、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

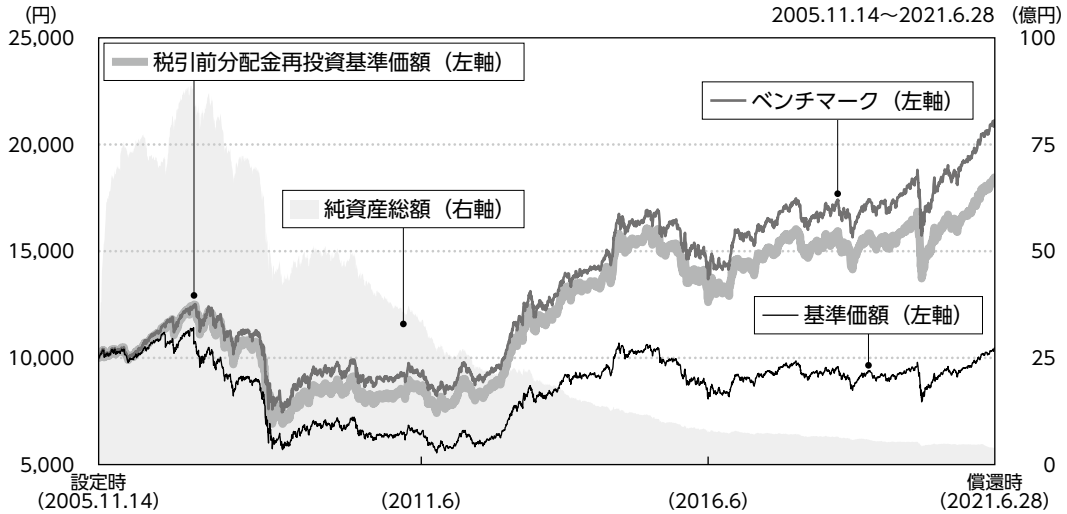
【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書(全体版)

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過

設定来の基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	5,020円
償還時	10,461円09銭	騰落率 (分配金再投資ベース)	84.5%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークは、ブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックス (円換算ベース)、ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州総合インデックス (円換算ベース)、MSCIコクサイ・インデックス (円ベース) を各々3分の1の比率で合成したもので、設定時を10,000として指数化しています。なおベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2008年にかけてのサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅ローン）問題に端を発した世界経済危機以降、各国中央銀行による金融政策等を下支えに、2009年3月から株価が回復基調で推移したこと
- ・2012年から2015年前半にかけて、米ドルおよびユーロが対円で上昇基調で推移したこと

<下落要因>

- ・2008年にかけてのサブプライムローン問題に端を発した世界経済危機により、2009年2月末にかけて株価が下落したことに加え、米ドルおよびユーロが対円で下落したこと
- ・2015年後半から2016年半ばにかけて、中国経済への懸念やイギリスの欧州連合（EU）離脱懸念などを受けて米ドル安円高が進行したこと

このたびは、長らくのご投資誠にありがとうございました。

今後ともニッセイアセットマネジメントの商品をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1万口当たりの費用明細

2021.1.13～2021.6.28

項目	第92期～第94期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	73円	0.729%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,046円です。
(投信会社)	(35)	(0.352)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(35)	(0.352)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.025)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.007	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(1)	(0.007)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.002	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.002)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.017	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.009)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.003)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	76	0.754	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

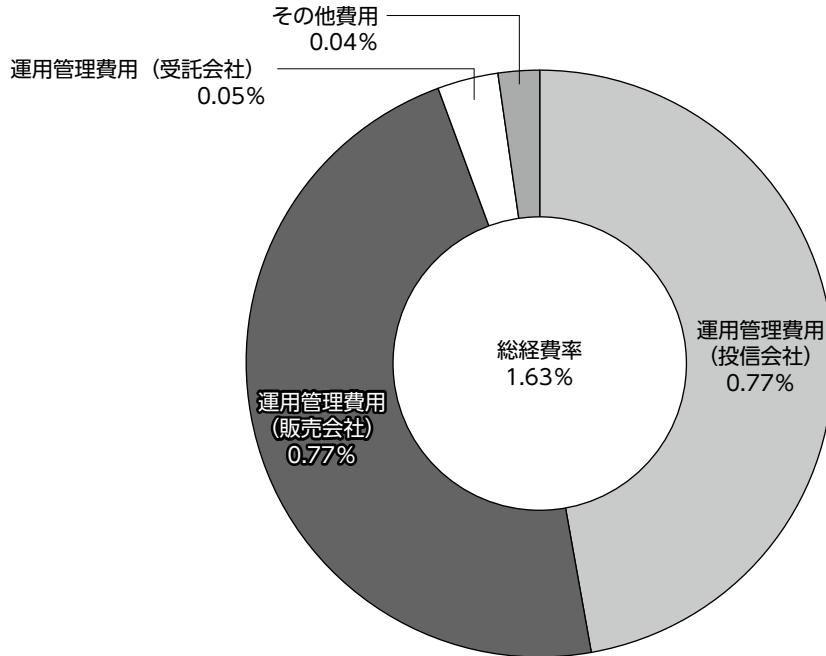
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.63%**です。



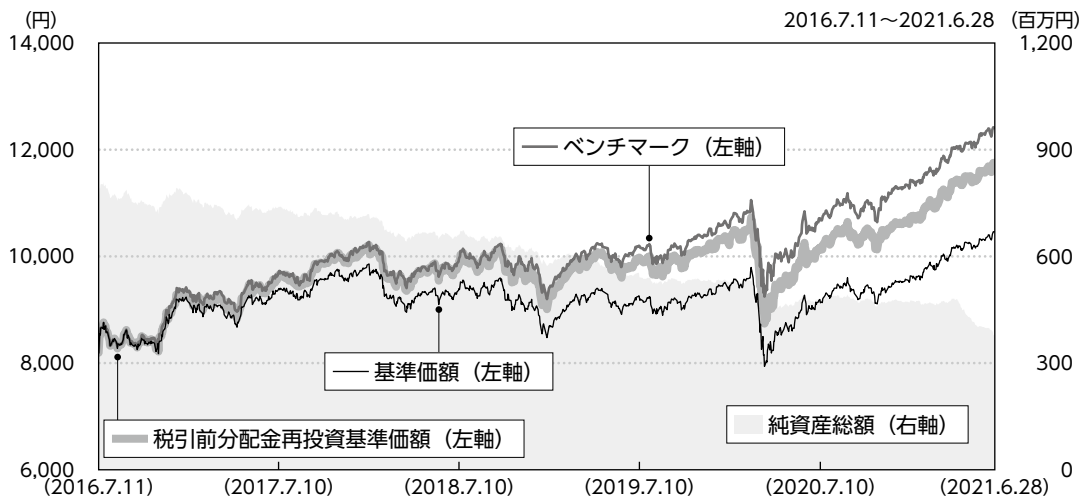
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの償還日は2021年6月28日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、2016年7月11日の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ベンチマークは2016年7月11日の基準価額にあわせて再指数化しています。

決算日		2016年 7月11日	2017年 7月10日	2018年 7月10日	2019年 7月10日	2020年 7月10日	2021年 6月28日
基準価額（分配落）	(円)	8,193	9,382	9,397	9,224	9,131	10,461.09
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	240	240	240	225	125
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	17.6	2.7	0.8	1.5	16.1
ベンチマーク騰落率	(%)	—	18.3	2.7	2.4	4.7	16.2
純資産総額	(百万円)	758	738	662	542	479	378

(注) 償還日の基準価額は償還価額を記載しています。

設定来の投資環境

■米国債券市況

設定来の米国10年国債金利は低下しました。2008年末にかけてはサブプライムローン問題に端を発した実体経済の悪化が深刻化し、米連邦準備制度理事会（F R B）が利下げを行ったことなどから金利は低下しました。その後もおおむね低下基調で推移しましたが、2016年7月以降は米景気回復やF R Bの利上げなどを受けて金利は上昇しました。2019年から2020年半ばにかけては、米中貿易協議を巡る懸念の影響や新型コロナウイルスの感染拡大により景気後退懸念が急速に高まったことを受け、F R Bが利下げを行ったことなどから金利は低下しましたが、償還時にかけては上昇基調で推移しました。

■欧州債券市況

設定来のドイツ10年国債金利は低下しました。2008年半ば以降は欧州中央銀行（E C B）が金融危機に対応するために同年10月に利下げを行ったことなどをを受け、金利は低下しました。2015年4月にかけてはE C Bによる量的緩和策を受けて金利は低下基調で推移しましたが、その後は一時上昇しました。償還時にかけては、イギリスのE U離脱を巡る懸念や新型コロナウイルスの感染拡大などから、金利は低下基調で推移しました。

■海外株式市況

設定来の海外株式市場は上昇しました。設定時以降、上昇基調で推移しましたが、2008年にかけてのサブプライムローン問題に端を発し、多くの欧米金融機関で損失が拡大したことから、2009年2月末にかけて世界的に株価は大きく下落しました。その後、各国中央銀行による金融政策等を下支えに回復基調で推移しましたが、2018年以降は米中貿易協議の進展を巡り、株価は上下に推移する展開となりました。2020年2月には新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により株価は大きく下落しましたが、償還時にかけては主要国における経済活動の再開や同ウイルスのワクチン開発への期待感などを背景に上昇しました。

■為替市況

<米ドル／円>

設定来の米ドル／円相場は米ドル安円高となりました。2008年にはリーマン・ブラザーズの破綻などにより、米ドルは対円で大きく下落しました。2012年から2015年前半にかけては、米ドルは対円で上昇基調で推移したものの、2015年後半から2016年半ばにかけては、中国経済への懸念やイギリスのE U離脱懸念などをを受けて米ドル安円高が進行しました。その後、トランプ新政権による米経済回復への期待感を背景に米ドルは一気に回復しましたが、償還時にかけては緩やかな米ドル安円高基調で推移しました。

<ユーロ／円>

設定来のユーロ／円相場はユーロ安円高となりました。2008年8月から2012年7月にかけては、米国の経済危機がユーロ圏に波及し、ユーロ安円高となりました。その後、2015年前半にかけてはユーロ高円安基調で推移しましたが、2015年後半から2016年前半にかけては、イギリスの国民投票においてE U離脱支持が過半数を占めたことにより、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどからユーロは対円で下落しました。その後、償還時にかけてはおおむねユーロ高円安基調で推移しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド」「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド」「ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に海外債券、海外株式へ分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を図ることを目標に運用を行いました。

原則として上記マザーファンド受益証券の基準配分比率は、純資産総額に対して各々3分の1とし、同配分比率を継続的に維持できるように各マザーファンド受益証券の組み入れを行いました。償還に向けて各マザーファンドの全売却を行いました。

■マザーファンド

*各マザーファンドの運用に当たっては、ザ・パトナム・アドバイザー・カンパニー・エルエルシーに運用指図に関する権限（国内の短期金融資産の運用の指図に関する権限を除きます）を委託しました。

<ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド>

米ドル建ての多種多様な債券（米国国債、モーゲージ証券、米国社債、ハイイールド債、米国外公社債等）を投資対象とし、戦略的な資産配分と業種・銘柄を選択し幅広く分散投資することで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努め、ベンチマークであるブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックス（円換算ベース）を長期的観点から上回ることを目標に運用を行いました。

<ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド>

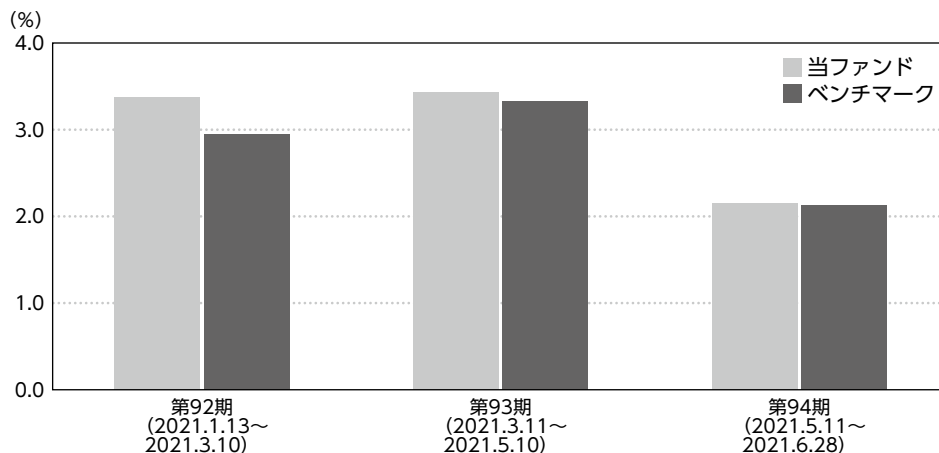
主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に分散投資することで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努め、ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

<ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド>

主に日本を除く主要先進国の株式に分散投資を行い、ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（円ベース）を中長期的に上回ることを目標にアクティブ運用を行いました。

*ベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

ベンチマークとの差異



当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+9.2%となり、ベンチマーク騰落率(+8.6%)を上回りました。

これは主に、組み入れていた「ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド」や「ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド」がベンチマークを上回ったことなどによるものです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行いました。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第92期 2021年1月13日 ～ 2021年3月10日	第93期 2021年3月11日 ～ 2021年5月10日
	当期分配金（税引前）	25円
対基準価額比率	0.25%	0.24%
当期の収益	25円	25円
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	356円	673円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

償還金

1万口当たり償還金（税引前）	10,461円09銭
----------------	------------

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■ 組入ファンド

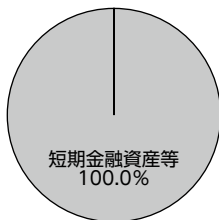
該当事項はありません。

■ 純資産等

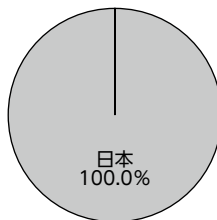
項目	第92期末 2021年3月10日	第93期末 2021年5月10日	第94期末 2021年6月28日
純資産総額	469,376,931円	426,042,526円	378,193,706円
受益権総口数	472,945,854口	416,003,370口	361,524,212口
1万口当たり基準価額	9,925円	10,241円	—
1万口当たり償還価額	—	—	10,461円09銭

(注) 当作成期間（第92期～第94期）中における追加設定元本額は1,800,164円、同解約元本額は134,322,262円です。

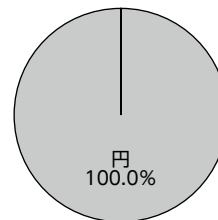
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



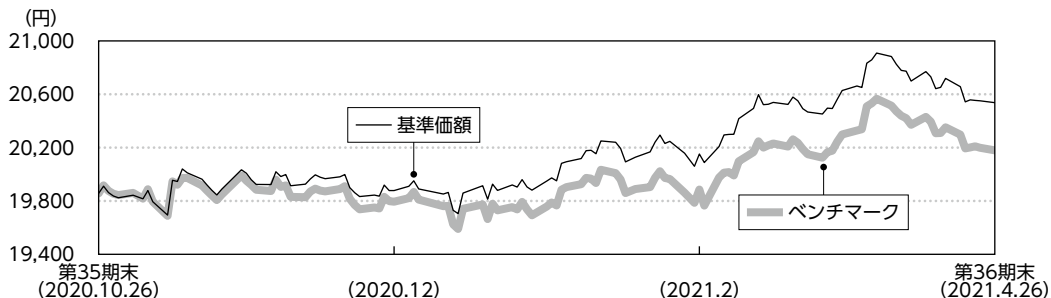
(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2021年6月28日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ／パトナム・バランスアップオープン

*償還日である2021年6月28日現在、マザーファンドの組み入れはありませんが、ご参考として直近の各マザーファンド決算日における情報を記載しています。

ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■ 上位銘柄

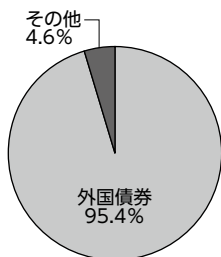
銘柄名	通貨	比率
GNMA TBA 4.0% 2051/5/1	米ドル	6.0%
US TREASURY 2.75% 2042/8/15	米ドル	4.0%
FNMA BF0101 3.5% 2056/6/1	米ドル	3.8%
US TREASURY 1.5% 2030/2/15	米ドル	3.6%
GNMA TBA 3.5% 2051/5/1	米ドル	3.0%
FNMA TBA 2.5% 2051/5/1	米ドル	2.9%
METLIFE CAPITAL TRUST IV 7.875% 2037/12/15	米ドル	1.9%
WEC ENERGY GROUP INC 2.3062% 2067/5/15	米ドル	1.7%
GNMA BI6858 4.5% 2049/3/1	米ドル	1.7%
GNMA BG6074 4.0% 2048/4/1	米ドル	1.5%
組入銘柄数		281

■ 1万口当たりの費用明細

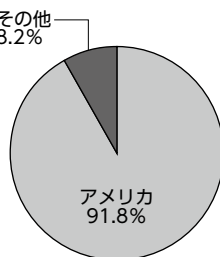
2020.10.27～2021.4.26

項目	金額
その他費用 (保管費用)	2円
(その他)	(2)
合計	2

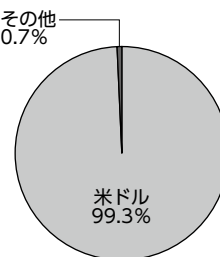
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



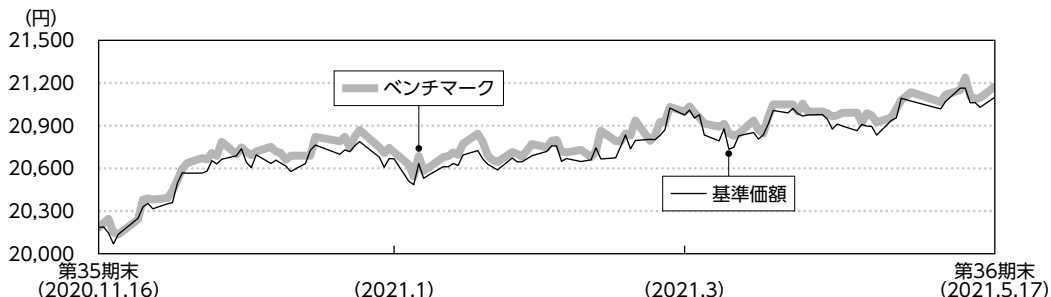
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2021年4月26日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■ 上位銘柄

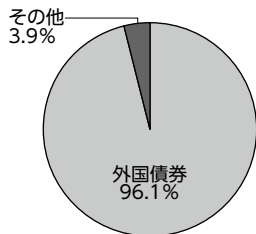
銘柄名	通貨	比率
UK TREASURY 3.25% 2044/1/22	イギリス・ポンド	4.4%
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 2.5% 2044/7/4	ユーロ	4.3
JPMORGAN CHASE & CO 2.875% 2028/5/24	ユーロ	4.1
KINDER MORGAN INC/DELAWA 1.5% 2022/3/16	ユーロ	3.3
CREDIT SUISSE GROUP AG 0.65% 2029/9/10	ユーロ	3.1
BUONI POLIENNALI DEL TES 6.5% 2027/11/1	ユーロ	3.1
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 0.0% 2029/8/15	ユーロ	2.8
UK TREASURY 4.5% 2034/9/7	イギリス・ポンド	2.8
SKANDINAVISKA ENSKILDA 1.375% 2028/10/31	ユーロ	2.5
CITIGROUP INC 1.5% 2028/10/26	ユーロ	2.3
組入銘柄数		77

■ 1万口当たりの費用明細

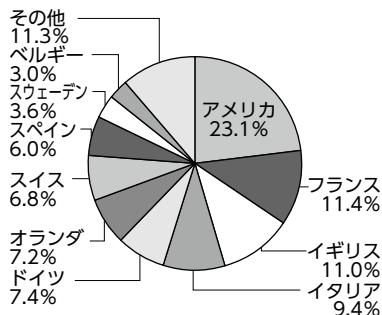
2020.11.17～2021.5.17

項目	金額
その他費用 (保管費用)	4円 (2)
(その他)	(2)
合計	4

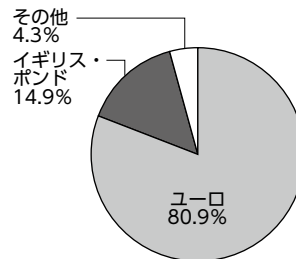
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



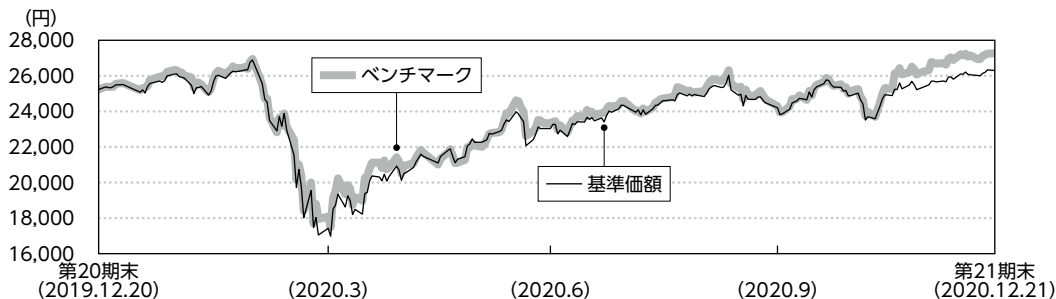
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2021年5月17日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■ 上位銘柄

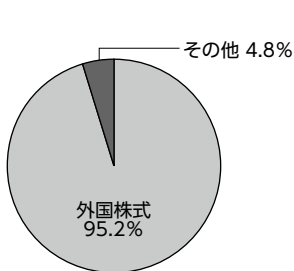
銘柄名	通貨	比率
NRG ENERGY INC	米ドル	4.2%
MICROSOFT CORP	米ドル	4.2
AMAZON.COM INC	米ドル	4.1
NOMAD FOODS LTD	米ドル	2.9
ASSURED GUARANTY LTD	米ドル	2.9
UNION PACIFIC CORP	米ドル	2.7
SERVICENOW INC	米ドル	2.5
SIG COMBIBLOC GROUP	スイス・フラン	2.5
VISA INC-CLASS A SHARES	米ドル	2.3
DANAHER CORP	米ドル	2.3
組入銘柄数		60

■ 1万口当たりの費用明細

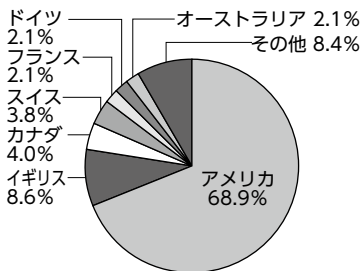
2019.12.21～2020.12.21

項目	金額
売買委託手数料	19円
(株式)	(19)
(投資信託証券)	(0)
有価証券取引税	8
(株式)	(8)
(投資信託証券)	(0)
その他費用	4
(保管費用)	(3)
(その他)	(1)
合計	31

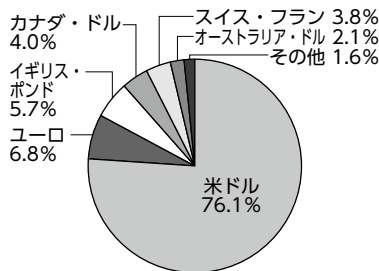
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



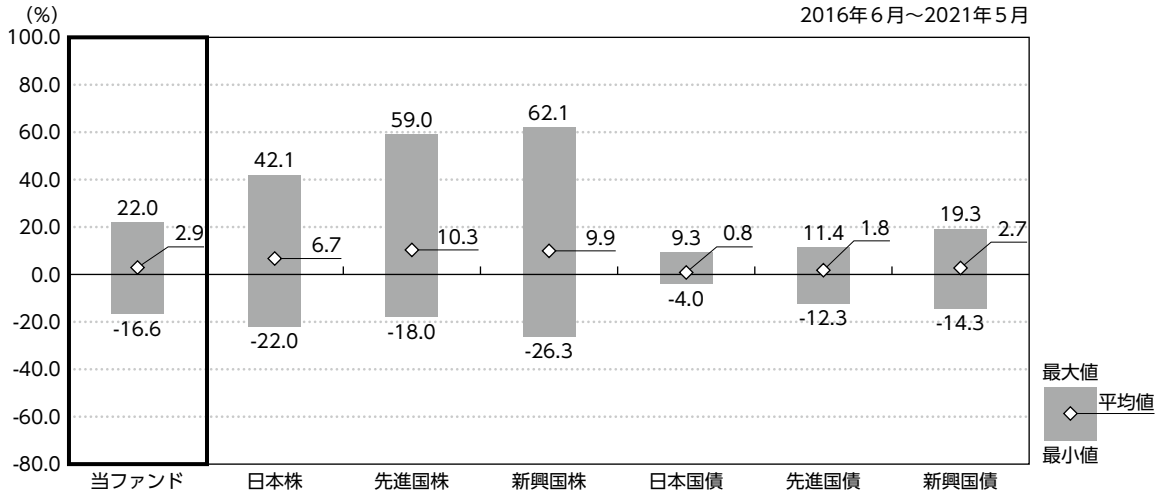
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2020年12月21日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、償還日に対応した数値とは異なります。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

指数に関して

■ ファンドのベンチマーク等について

- ・ブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックス（円換算ベース）
ブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、米ドル建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。
- ・ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）
ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州総合インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、汎欧州通貨建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。
- ・MSCI コクサイ・インデックス（円ベース）
MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表しているインデックスです。同インデックスに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

■ 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびT O P I X（東証株価指数）の商標または標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

- ・MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA－BPI 国債とは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合	
信 託 期 間	無期限（繰上償還日2021年6月28日）	
運 用 方 針	下記マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に海外債券、海外株式へ分散投資を行い、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ／パトナム・ バランスアップオープン	「ニッセイ／パトナム・米国インカムオープンマザーファンド」 「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド」 「ニッセイ／パトナム・海外株式マザーファンド」 受益証券
	ニッセイ／パトナム・ 米国インカムオープン マザーファンド	米ドル建ての米国国債、モーゲージ証券、米国社債、ハイイールド債 および米国外公社債等
	ニッセイ／パトナム・ ユーロインカムオープン マザーファンド	ユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社 債、ハイイールド社債等
	ニッセイ／パトナム・ 海 外 株 式 マザーファンド	日本を除く主要先進国の株式
運用方法	ニッセイ／パトナム・ バランスアップオープン	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、 信託財産の純資産総額の70%未満とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ／パトナム・ 米国インカムオープン マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託 財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ／パトナム・ ユーロインカムオープン マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託 財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ／パトナム・ 海 外 株 式 マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全 額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ただし分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	